

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第2回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年5月16日(木) 午後6時00分から午後8時20分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：15人(総数19人) 出席者：畠山会長、澁谷委員、岡田委員、山岡委員、馬場委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、金子委員、上條委員、矢島委員 欠席者：岡野委員、岩田委員、山本委員、山口委員 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、柴田、 脇田、吉岡
報 告	<p>3 報告</p> <p>(1) 前回全体会について 資料1のとおり事務局から説明。一部修正点あり(委員総数“21”→“18”)。 前回の意見交換会において、委員から期日前投票に関する意見があり、それに対する選挙管理委員会からの回答を事務局が代読。</p> <p>[意見1] 片瀬市民センターが建て替える際に、期日前投票所のスペースを確保できるように検討していただきたい。</p> <p>[意見2] 移動式の期日前投票所みたいなものを設けてみてはどうか。</p> <p>[意見3] 高齢者施設等の福祉施設で投票することができるということがある。藤沢市も鶴生園等の福祉施設で投票できるようにしてはどうか。</p> <p>[事務局] 委員の皆様から出た意見については、市民センターの方から選挙管理委員会へ伝えさせていただく。</p> <p>(2) 地域団体からの報告 ＜生活環境協議会＞ クリーン活動の御礼。フィッシャーマンズマルシェと同日開催したが、マルシェの方に市民が流れてしまった。来年度は今年度の反省を生かして活動していきたい。ごみゼロクリー</p>

<p style="text-align: center;">報 告</p>	<p>ンキャンペーンも5月26日（日）に実施する予定。 <片瀬地区社会福祉協議会> 6月16日（日）開催予定の癒しのコンサートの案内。 <片瀬子ども会連絡会> わくわく子ども天国の案内。 6月22日（土）に実施予定のわくわく子ども天国及び配布資料「みんなおいでよこどもらんど」の案内。 <スポーツの会> 5月19日（日）に片瀬小学校で実施予定のスポーツフェスティバル及び6月1日（土）に片瀬中学校で実施予定のソフトボール大会の案内。 <民生委員> 今後、75歳以上の後期高齢者調査が始まる予定。また、敬老会の出席者の人数についても確認させていただく予定。 <青少協> 7月5日（金）に実施予定の潮の子フォーラム及び7月19日（金）に実施予定のデーキャンプ、7月20日（土）、8月3日（土）に実施予定の江の島夏期夜間パトロールの案内。 デーキャンプについては、コロナ禍では6年生限定だったが、今年度はレトルトカレーを配布する予定。 【質問】 [委員] デーキャンプのカレーは参加者が各自で食器を持っていく形か。 [回答] 食器は団体で用意することとし、事業ごみとしてセンターで捨てる予定。</p>
<p style="text-align: center;">議 題</p>	<p>4 議題 (1) 令和6年度片瀬・江の島まちづくり協議会アンケートについて資料2のとおり事前にお配りしたアンケートを集約させていただいた。これから20分ほど時間を設けるので、自由に意見交換していただきたい。意見交換の流れの中で、次回の全体会につながるような意見のまとめ方をしていきたいと事務局としては考えている。 ※ 委員のアンケート回答資料は別途事務局から配布 [委員] 全体を通して地域の中でつながりを持ちたい、中のコミュニティが強固で外から入りづらい。これまで部会で細かく検討してきたが、みんなで集えるイベント等で出会いの場を設けてもいいのではないかと感じた。</p>

[委員]

片瀬海岸3丁目津波避難施設の建設について、前回のまちづくり協議会にて説明があったと聞いている。建設は近々着手する予定とのこと。施設内の物品の維持管理を町内会が率先してやるべきと考えている。10年以上津波に耐えうる施設にできればと考えている。

[委員]

7月27日(土)に片瀬小学校の150周年イベントを実施する予定であり、子ども会連絡会は模擬店を出店する予定。まちづくり協議会としても活動をPRする良い機会になるのではないかと。

[事務局]

まちづくり協議会の存在自体が地域に知られていない現状があると認識している。アンケート結果を見ると、福祉と医療の向上が課題として挙がっており、その具体的な対策案として、委員からアプリ開発等の意見が挙がっていた。この点について、委員から説明いただきたい。

[委員]

アプリ開発については、ゴミの日をアプリで確認できるものがあり、利便性が高いと感じたことが本意見提案のきっかけである。

アプリ案は配布資料のとおり5種類挙げている。共通のポイントとして、どの世代でも同じ情報を掴むことができるようにし、世代によって情報の捉え方は違うが、世代を超えて他地区に情報発信及び地区の情報を集約できるようなプラットフォームにしていきたいと考えている。

参考に、「ことごと」というマガジンを回覧させていただいた。これは子ども達取材をした鎌倉地域のマガジンであり、子どもたちが地区内にある会社や人等取材して、地区内の出版経験者の協力を得ながら作成したものである。

[事務局]

アプリ等のツールを活用しながら、まちづくり協議会という枠組みの中で様々な情報発信していくことで、地区内のつながりを構築できたらと感じた。

地区のつながりは、結果として防災や福祉にも生きてくる。先程の委員の意見を踏まえて、再度委員の皆様の意見を伺いたい。

[委員]

委員のような公募委員からの意見を大切にしてほしい。委員の定期的な交代もするようになれば、新たな意見の創出につ

ながるし、まちづくりに携わる人を増やしていくことも大切と
考えている。

[委員]

片瀬地区の世帯数等の議論の元になる客観的なデータを事務局
から示したほうがいいのではないか。今まで、地区内でどのよ
うなイベントがあり、どのような地域団体が主催しているのか
知らなかった。

若い方の注目が地区内のイベント等集まるように、このよう
な会議体に若い人を入れ込んでいけたらいいと感じた。

[事務局]

若い方をこのような会議体に入れ込むのも大切と考えている
が、一方で、片瀬地区は藤沢市の中でも歴史のある地区である
とも認識している。そのため、若い方と地区の歴史を知ってい
る方が共存できる様な会議体にして行きたいと事務局としては
考えている。

[委員]

アンケート結果を見てみると、防災に関する意見が多いと感じ
た。地域の防災活動を推進するためには、地域間のつながりが
大切と考えており、つながりを深めることができるように具体
的な目標を設けるべきと感じた。

[事務局]

片瀬地区は防災の意識が高いと感じている。発災時にも避難行
動や避難所開設等についても、地域間のつながりが大切である
ため、このような会議体で深めていけたらと感じた。

[委員]

委員のアイデアについて、公平に情報がいきわたるという観点
から、とても良いと感じた。ただし、いきなりアプリ開発とい
うのは、リソース的にも厳しい側面があるかと思うので、まずは、
ウェブサイトやライン等から始めて、段階を踏んでアプリに移
行していくことが現実的かなと感じた。

個人的に、とても緊急度が高いと感じており、スピード感をも
ってこの課題を解決したいと考えている。その課題解決のアイ
デアとして、地域間がラインでつながることが最低限必要と感じ
ている。

また、他のアイデアとして、アンケート結果 5 ページに記載の
「図書館ボックス」提案したい。これは、宅配ボックスのよう
に 24 時間いつでも貸し借りできるものであり、これを地区内に
配置することで、人とモノの流れが可視化できる仕組みが構築
できる。これは防災の観点からも、「困ったときに貸せる」にす

ることで、参加することで利があるような仕組みを構築できれば、地域としても参加しやすいのではないかと感じた。

[委員]

まちづくり協議会が何のためにあるのか今一度立ち返るべきと感じている。防災に関する意見が多数出ているが、各地域団体でそのテーマに関する見え方が違うため、月ごとにテーマを決めて話し合うのもいいのではないかと感じた。

[委員]

自身も公募委員の際に、どのような部会が必要か自由に意見できた。公募委員は、地域団体に所属していない側面から自由に発言できるため、公募委員を中心としたワーキンググループを作ってもいいのではないかと感じた。

自治会加入率が片瀬地区は高いと感じていたのも、アンケートにつながりが薄いと書かれていたのは驚いた。高齢化により外部を受け付けないこと主な原因と感じている。このアンケート結果をもとに、部会にとらわれないイベント等の活動をしてもいいのではないかと感じた。

[委員]

どのような側面から地域のつながりが強かったと感じていたのか。

[委員]

自身が自治会の役員をやっていたので、地域間のつながりがあると感じていたが、実情は違っているのだなと感じた。アンケートでかなり踏み込んだ意見が出たので、このアンケート結果を大切に進めてきたほうが良いと考えている。

[委員]

マンション管理組合との話し合いとかはどうか。マンションの管理組合は若い人が加入していることもあり、役員も輪番制なので、若い人と協議できる。また、委員の貸し借りの仕組みも良いと思った。

[委員]

地区内のつながりが薄いと改めて感じた。人が集まって輪が広がっていく。地区の人が集まるイベントを開催して、地域住民が交流する場を創出する必要があると感じた。

[委員]

町内会加入率について、片瀬は91%くらいだが前は98%くらいだった。新しく建ったマンションは管理組合で加入の有無を決

定するため、コントロールできない。町内会加入する利点として広報ふじさわの配布を案内しているが、実際は町内会に加入しているが、配っている実績もある。

[委員]

自治会はマンション単位で結成しているものもあるのか。

[委員]

マンション単独で結成している自治会もある。

[委員]

方向性について、タウンミーティングをする案も過去にあったが実現はできなかった。今後、まちづくり協議会として、地域の方が集まるイベントやアンケートの意見で多く挙げた防災関連で何か企画してもいいのではないか。

ただ、若い人との交流という観点において、今の若い人は自身に利があることは関与していくが、地域団体等のコミュニティにとらわれたくない傾向がある。

[委員]

能登半島地震があったため、現在のトレンドは防災になりがちだが、まちづくり協議会は防災専門の会議体ではない。片瀬地区には自主防災協議会があるため、防災にとらわれすぎなくてもいいのではないかなと感じている。文化継承等の他のテーマを取り上げていいかなと思った。

[委員]

部会の在り方を検討するうえで、来月の全体会で話し合うテーマをここで決めたらどうか。

[委員]

来月の全体会は、今年度のまち協の在り方を主題として考えるべきであり、その中で、防災について取り上げて部会を作るか、イベントをやるか方向性を決めていくべきと考えている。

[事務局]

本会議のまとめをさせていただく。

今回、様々な意見を委員の皆様から出していただいたが、6月の全体会に向けてまちづくり協議会の方向性を決めていく必要がある。個人的には、アプリ等の新たな視点の意見も出たため、部会ではなく、ワーキンググループという枠組みでやっていくのもいいのかなと感じた。また、委員からもご意見のあったとおり全体会の在り方も今後検討していく必要もあると感じている。

	<p>そのため、次回全体会では、今回の意見を参考に、部会を作るのか、ワーキンググループを作るのか等、まちづくり協議会の方向性について改めて検討していくこととしたい。</p> <p>【決定事項】 異議なし。今回の意見を参考に6月の全体会で検討する。</p>
<p>その他</p>	<p>5 その他 事務局から次回の日程について案内。来月の役員会は方向性が決まっていないため、見送りとさせていただく。全体会については、6月20日に実施する予定であるが、時間が未定であるため、開催時間についてここで意見を伺いたい。</p> <p>[委員] 委員の皆さんがたくさん出席できる時間帯がいい。</p> <p>[事務局] 公募委員の方が参加できる時間帯、昼からだ、夜はどうか。</p> <p>[委員] 木曜は勤務日であるため、日中は仕事のため参加は難しい。</p> <p>[事務局] 公募委員の仕事がある現状を鑑みて、18時開催予定でどうか。</p> <p>[委員] 委員が夜の時間帯だと出席できないため、今後は夜と昼の時間帯を交互に開催してはどうか。</p> <p>[委員] そのほうが公平性は保てる。</p> <p>[委員] 次回は公募委員の出席状況も鑑みて、今回同様に夜間にしてはどうか。</p> <p>[委員] 委員については、事務局から事前に意見を聴取しておくことで、補完できるのではないかと。</p> <p>[事務局] 今回同様に18時開催とさせていただく方向でよろしいか。</p> <p>【決定事項】</p>

	<p>異議なし。6月の全体会は18時開始とさせていただきます。</p> <p>[事務局] 部会の開催については、方向性が決まっていないため見送りとする。今回のアンケート結果等については、自治連総会でも報告をさせていただきます。</p> <p>また、次回の全体会にて、市建築指導課が令和7年度に市条例を変える動きをするため、会議の冒頭で説明する時間を設けたいと考えているのでご理解いただきたい。</p> <p>[委員] JJBCが今月末で閉所する。今までご協力いただきありがとうございました。</p> <p>[事務局] 東浜海水浴場営業組合より盆踊りのイベントを実施する予定であり、まちづくり協議会に協力の依頼があった。本件について、回覧等で協力できるのではないかと考えているが、詳細が固まっていないため、改めて周知させていただきます。</p>
<p>次回会議 開催日時・場所</p>	<p>全体会 日時 2024年6月20日(木) 午後6時00分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>